

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人そてつ会

- (法人本部)
- (障害者支援施設 竹山苑)
- (相談支援事業所 ともいき)
- (放課後等デイサービス カラット)
- (特別養護老人ホーム 涼松)
- (通所介護支援事業所 岡村さん家)
- (岡村さん家居宅介護支援事業所)

目 次

○ 法人本部	1
○ 障害者支援施設竹山苑	5
○ 相談支援事業所ともいき	9
○ 放課後等デイサービス カラット	14
○ 特別養護老人ホーム涼松	17
○ 通所介護支援事業所岡村さん家	21
○ 岡村さん家居宅介護支援事業所	24

令和4年度 事業報告書

法人本部

1 重点項目における評価と課題

(方針1) 危機管理体制の確立・強化を図ります

情報を一元化し、各事業所で発生した問題を法人間で速やかに共有します

【評価】

職員の出勤停止や移動制限、外出等における行動基準を定めた理事長メッセージを定期的に発信し、感染拡大防止に努めた。

各事業所の代表者、担当者による法人会議や代表者会議の実施により、事業所間の情報共有を図った。また、経営会議を定期的に開催し、業務改善に取り組んだ。

【課題】

事業所間の職員派遣、人事交流がコロナの影響で充分できていない。施設運営に係る情報共有と合わせて継続して検討していかなければならない。

各事業所間の会議については情報共有が主となってきており、協議事項等内容の充実を図る必要がある。

(方針2) 信頼される社会福祉法人を目指します

地域と協働で支え合う社会づくりに貢献します

【評価】

南九州市から生活困窮者子どもの学習・生活支援事業を受託し、生活困窮世帯の子ども等を対象に実施、新型コロナウイルス感染症に留意しながら、そよ風事業とともに前年度と同程度、実施することができた。

法人広報誌は予定どおり年1回発行、ホームページには事業所の広報誌を定期的に掲示し、フェイスブックも随時更新した。

【課題】

地域貢献活動については十分な感染症対策に努めながら継続して実施していくが、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが変更された際に、事業実施の判断基準を検討する必要がある。

ホームページ、フェイスブック更新の頻度やアクセス数の向上について検討する必要がある。

(方針3) 経営の安定化を図ります

人材確保と就労環境の改善に努めます

【評価】

人材確保について、就職ガイダンスへの参加や実習生の受け入れ等により新規学卒者を確保することができた。コロナ感染症の影響で入国が延期になっていた特定技能の外国人2人も7月に入職し、必要な職員数を確保することができた。

就労環境の改善については、「社会福祉法人そてつ会 行動計画」(次世代法・女性活躍推進法に係る一般事業主行動計画)の見直しを行い、周知を図った。育児・介護休業等に関する規則の改正も行い、男性の育休取得率向上に努めた。

【課題】

そてつ会行動計画については取組内容の実施時期に遅れがあり、計画的な実施が必要である。

就労環境の改善については、定年延長や待遇改善等について就業規則改正を検討する必要がある。

2 主な実績概要

(1) 職員数 (令和5年3月31日現在)

	正職員	非常勤	計
本部	1	1	2
竹山苑	30(7)	19	49(7)
ともいき	3(1)	0	3(1)
カラット	7(5)	2	9(5)
涼松	28(1)	22	50(1)
岡村さん家通所	4(1)	7	11(1)
岡村さん家居宅	2(1)	0	2(1)
合計	67	51	118

※ カッコ内は兼務者、内数

(2) そてつ会における離職率

週30時間以上の常勤(再雇用を含む)及び非常勤職員

	竹山苑	ともいき	カラット	涼松	岡村さん 家デイ	岡村さん 家居宅	全体
常勤	3.2%	0%	0%	7.1%	0%	0%	4.3%
非常勤	10.0%	0%	0%	0%	16.7%	0%	6.0%
計	5.9%	0%	0%	4.0%	10.0%	0%	5.0%

※ 年度当初の職員数に対する離職者の割合(3月31日退職を含む)

(3) 資格保有職員数 (令和5年3月31日現在)

	介護 福祉士	社会 福祉士	ケア マネ	看護師	准 看護師	管理 栄養士	栄養士	保育士
本部	1	3(2)	1(1)	0	0	0	0	0
竹山苑	25(4)	3(3)	1(1)	1	1	0	1	2
ともいき	2	3(1)	3(1)	0	0	0	0	0
カラット	5(4)	2(1)	1	0	0	0	0	2
涼松	19	1(1)	2(1)	4	2	1	0	1
岡村さん家デイ	5(1)	0	1(1)	1	2	0	0	1
岡村さん家居宅	2(1)	1	2(1)	0	0	0	0	0
合 計	54	9	8	6	5	1	1	6

※ カッコ内は兼務者、内数

(4) 法人会議の実施

4回 (6月2日、9月9日、12月5日、3月6日)

(5) 代表者会議の実施

9回 (5月3日、12日、20日、9月9日、11月1日、29日、2月20日、27日、
3月10日)

(6) 役員会等の実施

- ア 理事会 4回 (6月2日、7月29日、12月5日、3月6日)
- イ 評議員会 3回 (6月20日、12月16日、3月22日)
- ウ 監事監査 本部・竹山苑・ともいき・カラット (5月19日)
涼松・岡村さん家 (5月18日)

(7) 研修

- ア 職場内研修 なし
- イ 職場外研修
11月28・29日 全国経営協 監事専門講座 オンライン (監事)
12月5日 南薩地区社会福祉法人監事等研修会 (監事)

(8) 設備管理

購入・工事 (10万円以上)

名 称	数 量	金 額
ノートパソコン	1台	126,280円

(9) 地域との関わり

- ・学習支援事業（8回） 4月23日、6月25日、9月24日、10月29日、
11月26日、1月28日、2月25日、3月25日
- ・学習支援事業利用者へのプレゼント配布 12月24日
- ・そよ風事業・次年度計画会議 4月23日、3月14日
- ・学習支援事業運営会議 10月29日、3月25日
- ・そよ風事業小学校との交流打合せ会議 6月9日
- ・顛娃別府小学校福祉の授業（オンライン） 7月11日
- ・そよ風事業 ポスター・標語 9月7日審査、30日優秀作品表彰式（別府小）
- ・そよ風事業 ポスター掲示・のぼり旗設置 10月24日

（10）求人活動

- ・鹿児島医療福祉専門学校 介護福祉科 就職ガイダンス 6月24日
- ・福祉・保健医療職場 就職ガイダンス（鹿児島県、県社協主催） 8月7日
- ・高校生向け地元企業ガイダンス（指宿市主催） 3月14日
- ・南薩地域企業プロフィール手帳（南薩地域振興局発行）への掲載
（竹山苑、涼松） 9月

障害者支援施設 竹山苑

1 重点項目における評価と課題

(方針1) 危機管理体制の確立・強化を図ります

情報を一元化し、発生した問題に組織的に取り組みます

【評価】

8月と1月に新型コロナウイルス感染症罹患が施設内で発生した。1月発生時は収束まで約1か月を要し、多くの利用者・職員が陽性となってしまった。重症化する方が一人もいなかったことは救いであった。通所・居宅介護・放課後等デイサービスは完全に職員・利用者の往来を切り離し、事業を継続することができた。

なお、発生時は情報通信アプリ等のコミュニケーションツールを活用し、情報共有を図りながら効率的、効果的に事業を継続することができた。

台風等による大きな被害等はなく、施設の老朽化による対応も空調機器等備品の買い換えのみであった。

【課題】

引き続き感染症予防の徹底を行うとともに、今後義務化される事業継続計画の策定に取り組む必要がある。

(方針2) 信頼される社会福祉法人を目指します

利用者・家族と共に生きる施設を目指します

【評価】

コロナ禍であったが、職員の創意工夫で出来るだけの個別活動を推進した。これまでコロナ対応で縮小して行ってきた秋祭り週間や忘年会週間等の行事に加え、利用者からの要望により、感染対策に充分配慮しながらミニ花火大会を開催するなどした。

法改正を踏まえ、虐待防止の更なる推進として「いつくしみ会」の強化と身体拘束廃止のための委員会設置、並びに指針の策定を行った。

入所、通所のおたより(広報誌)を発行するとともにフェイスブックも活用し、家族、外部の方々への情報発信に努めた。

【課題】

コロナ禍前の日常を取り戻すべく、コロナ感染症に留意しながらも改めてその人らしくあるための支援に努め、業務改善と見直しによる日中活動の充実を図る必要がある。また、地域の行事や取り組みに積極的に参画していただけるよう努める必要がある。

コロナ禍においては職員も多くの制限を受けながら就業してきており、職員の

活力の向上、メンタル・ストレスケアも課題である。

(方針3) 経営の安定化を図ります

持続可能な施設運営に努めます

【評価】

利用者の健康維持と関係機関との連携等で入院や欠員が最低限に抑えられ、入所利用の稼働率は前年同様 97.1%となった。生活介護通所が微増で居宅介護、日中一時支援、短期入所の利用者は減少となった。

施設入所の待機者については年度当初 1 名であったが、関係機関とも連携しながら複数確保することができ、待機者をスムーズに利用につなげることが出来た。4 年度末では 4 名の待機となっている。

職員同士の情報共有や連絡調整にスマホやタブレット端末の通信アプリを活用し、業務を円滑化出来ている。

【課題】

引き続き現利用者の健康管理に努めるとともに、施設の魅力を高め、発信することで、待機者を獲得し利用稼働率の安定化に努める必要がある。

また、燃料費高騰や物価高が進んでいるため、現実的な節約を行い、経費節減に努める必要がある。

2 主な実績概要

(1) サービス利用状況

事業所名	定員	令和 3 年度		令和 4 年度	
		延利用	稼働率	延利用	稼働率
入所	50 名	17,768 名	97.4%	17,718 名	97.1%
生活介護のみ	10 名	1,861 名	64.4%	1,907 名	62.3%
日中一時支援		87 名		82 名	
短期入所	6 名	607 名	28.0%	512 名	23.4%
居宅介護		737 名		539 名	

(2) 事故、ヒヤリハット

ア 事故	63 件
イ ヒヤリハット	190 件
ウ 行政報告	2 件

(3) 苦情・相談

1 件

(4) 家族等の面会

年間回数	0	1	2～5	6～11	12以上	計
人数	19	3	19	5	5	51

(5) サークル活動

学習～週 1/月曜、書道～週 1/火曜、麻雀～週 1/木曜、パソコン～週 1/木曜
※感染対策等で休止期間あり。学習はオンライン開催も試みた。

(6) ボランティア受入 鹿児島医療福祉専門学校 1名

(7) 実習受入 2件 (鹿児島医療技術専門学校、鹿児島女子短期大学)

(8) 研修

ア 職場内研修

- 7月 看護講座
ケア振り返り
- 10月 事例検討会
- 1月 交通安全講座
看護講座
- 3月 権利擁護、虐待防止研修

イ 職場外研修

- 5月 鹿児島県社会福祉法人経営者協議会 総会 オンライン (苑長)
- 7月 令和4年度サービス管理責任者更新研修 オンライン
(苑長・副苑長・サビ管2名)
- 8月 介護セミナー 仕事に対する慣れを考える オンライン (生活支援員1名)
社会福祉法人会計初級編 オンライン (事務員1名)
- 9月 「働き方改革対応 有給休暇・休み編2022」セミナー (事務員1名)
指宿市部会研修 虐待防止・権利擁護研修会 オンライン (サビ管1名)
- 10月 令和4年度高次脳機能障害者支援のための研修会 オンライン
(生活支援員2名)
福祉・介護職員等の処遇改善加算と新加算に関するセミナー オンライン
(副苑長)
- 11月 社会福祉法人会計研修 オンライン (事務員1名)
メンタルヘルス講習会 オンライン (事務員1名)
感染対策に関する研修会 オンライン (看護主任)
鹿児島県社会福祉法人経営者大会 (苑長・副苑長)
- 1月 令和4年度 甲種防火管理新規講習会 (副苑長)
介護福祉士基本研修 オンライン (生活支援員2名)

- 2月 令和4年度 安全運転管理者等法定講習会 オンライン（苑長）
九州障害者支援施設研究大会 オンライン
（苑長・副苑長・サビ管2名・事務員1名・栄養士・生活支援員5名）
- 3月 令和4年度障害福祉事業経営者セミナー オンライン（苑長）

(9) 防災対策

ア 防災訓練

- 4月 防災教育
- 5月 公用車使用時事故対応
- 6月 風水害
- 7月 昼間想定 避難訓練（分遣所合同）
- 8月 所在不明捜索・非常事態呼集訓練
- 9月・10月 救命講習（分遣所合同）
- 11月 夜間想定 避難訓練（分遣所合同）
- 12月 地震対応
- 1月 感染症対策訓練
- 2月 夜間想定 避難訓練
- 3月 不審者対応（警察署合同）
本年度反省・次年度計画

イ 消防用設備等点検

年2回実施（9月、3月）

(10) 設備管理

購入・工事（10万円以上）

名 称	数 量	金 額
床走行リフトホイール交換	1 式	130,680 円
中継槽汚水ポンプ取替	1 式	132,000 円
東側倉庫屋根スレート工事	1 式	292,600 円
天井走行リフトバッテリー交換	1 式	160,000 円
高圧受電設備内高圧負荷開閉器取替	1 式	283,470 円
11号室トイレ跳ね上げロック式手摺り取替	1 式	120,670 円
電動ベッド	1 台	202,400 円
居室用エアコン	2 台	235,400 円
ガス式乾燥機	1 台	935,000 円

(11) 地域との関わり

11月 山川小学校4年生交流会

相談支援事業所 ともいき

1 重点項目における評価と課題

(方針1) 危機管理体制の確立・強化を図ります

地域とともに危機管理体制整備に努めます

【評価】

感染状況に応じて、支援の対応を協議し、効果的な支援を行うことができた。会議、研修はオンラインに、モニタリングは電話対応に、提出物は郵送にするなどの対応を取った。

避難行動要支援者に対する個別避難計画作成については、自立支援協議会を通して指宿市の危機管理課の状況把握に努めた。また、計画作成にあたっての市からの協力要請については、事業所単位でなく地域を単位とした自立支援協議会に対して行っていただくよう働きかけを行った。

台風接近時には、避難場所の周知等について市内の相談支援専門員で情報共有して対応した。

【課題】

災害時の個別避難計画作成について大きな進展がないところであるが、引き続き、地域を単位とした自立支援協議会に対して協力要請をしてもらうよう働きかけていく必要がある。また、同協議会と危機管理課と共同で会議の場が持てないか検討する。

(方針2) 信頼される社会福祉法人を目指します

共に生きる地域社会の実現を目指し、地域貢献に努めます

【評価】

指宿市自立支援協議会の4部会合同で虐待防止・権利擁護研修を行い、虐待に対する地域の共通基盤を整備するきっかけづくりを行った。法人内では竹山苑のいつくしみ会に参加し、当事者や第三者とともに虐待や権利擁護について協議した。

個別ケースでは、ライフステージの切れ目で、当事者の意思決定（意思表示）ができる会議の場を持ち、支援にあたった。

地域共生社会を目指し、自立支援協議会を通して関係機関と基幹相談支援センター設置に向けた協議を行った。

研修等の活動で圏域及び県内の相談支援事業と連携を深めつつ、相談支援事業所以外の関係機関とも連携してネットワークの幅を広げた。

【課題】

基幹相談支援センターの設置に向け、行政と関係機関で協議を重ねていく必要がある。

住民とのつながり強化が課題となっている。自立支援協議会でも民生委員や地域のボランティアとのつながりを持ちたいという声が出ている。

(方針3) 経営の安定化を図ります

持続可能な事業運営を目指します

【評価】

地域生活支援拠点の整備は自立支援協議会で話題に上がったが、具体的な進展はなかった。基幹相談支援センターの整備については各市の同協議会において議論され、継続して検討していくこととしている。

計画相談については、相談数の増加と相談支援専門員の不足が一因となり、待機者が出ることとなった。

地域移行・定着について、地域では少しずつ実績が出てきているが、当事業所では実績がなかった。なお、自立支援協議会では、不動産業者とのネットワークづくりや社会資源の開発を働きかけている。

【課題】

社会福祉士実習は来年度も1名の受け入れ予定である。来年度より実習カリキュラムの変更があり、1か所の長期実習から分野別に長期と短期の2か所での実習となるため実習機関同士の連携が必要となってくる。

地域における相談支援専門員の増加は見込まれず、利用者数は増えていく見通しであり、今後セルフプラン対応になるのではないかとの懸念がみられる。

地域移行・定着は精神保健福祉部会で協議が進んでいるが、地域の体制づくりがまだ不十分であり、地域及び当事業所の課題である。

2. 主な実績概要

(1) サービス利用状況

令和3年度		令和4年度	
延べ利用		延べ利用	
計画	145名	計画	140名
継続	408名	継続	396名

(2) 苦情・相談 なし

(3) 実習受入（社会福祉士実習） 鹿児島国際大学 2名（8/8～9/7）

(4) 研修

ア 職場内研修 竹山苑に同じ

イ 職場外研修

- 4月15日 令和4年度 県相談支援従事者ファシリテーター研修
- 6月22日 令和4年度 県サービス管理責任者更新研修ファシリテーター研修
- 28日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議 (KGSN) 令和4年度総会・第1回全体研修会
- 30日 令和4年度 県サービス管理責任者児童発達支援管理責任者更新研修
- 7月23～24日 2022年度 社会福祉士実習指導者講習会
- 27日 令和4年度サービス管理責任者児童発達支援管理責任者更新研修
- 8月27日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議 (KGSN)
令和4年度 第1回南薩圏域研修会
- 30日 鹿児島県相談支援従事者養成研修ファシリテーター研修
- 10月3日 令和4年度高次脳機能障害者支援のための研修会
- 7日 鹿児島県相談支援従事者研修ファシリテーター研修
- 11月 令和4年度相談支援従事者現任研修(前期)
オンライン配信(11/15～22)
- 2日 令和4年度相談支援従事者初任者研修ファシリテーター研修
- 12月6日 令和4年度相談支援従事者現任研修(前期)ファシリテーター研修
- 16日 令和4年度九州地区障がい者相談支援事業合同研修会沖縄大会
- 1月11日 令和4年度相談支援従事者現任研修(中期)ファシリテーター研修
- 20日 令和4年度鹿児島県小児在宅医療推進研修会
- 2月1日 令和4年度相談支援従事者専門コース別研修
- 14日 令和4年度相談支援従事者現任研修(後期)ファシリテーター研修
- 17日 令和4年度第2回鹿児島県重症難病医療ネットワーク研修会
- 24日 令和4年度第2回 KGSN 南薩圏域研修会
- 3月2日 県医療的ケアアドバイザー研修
- 3日 KGSN 令和4年度第2回全体研修会

(5) 防災対策 竹山苑に同じ

(6) 設備管理 なし

(7) 地域との関わり

- 4月26日 鹿児島国際大学 サービス管理責任者研修アドバイザー会議
- 5月14日 九州ブロック相談支援事業代表者会議
- 27日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議運営会議
- 29日 日本相談支援専門員協会総会、全国相談支援ネットワーク代表者会議
- 6月6日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議事務局会議

- 14日 鹿児島県相談支援従事者養成研修企画運営会議
- 16日 鹿児島県医療的ケア児等支援アドバイザー会議
- 7月1日 ソーシャルワーク実習事前協議会
- 4日 第39回地域医療連携連絡会議
- 8日 第1回相談支援専門員との面談会（指宿養護学校）
- 19日 令和4年度 サービス管理責任者児童発達支援管理責任者更新研修
（講師派遣）
- 29日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議事務局会議
- 8月4日 鹿児島県相談支援従事者養成研修企画運営会議
- 9日 令和4年度 サービス管理責任者児童発達支援管理責任者更新研修
（講師派遣）
- 18日 鹿児島県医療的ケア児等支援協議会
- 23日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議 3役会
- 9月2日 指宿市自立支援協議会部会 虐待防止・権利擁護合同研修会
（講師派遣）
- 6日 鹿児島県相談支援従事者初任者研修（講師派遣）
- 15日 鹿児島県こども総合療育センター 意見交換
- 16日 令和4年度 鹿児島県医療的ケア児等支援者研修 打合せ
- 20日 鹿児島県医療的ケア児支援アドバイザー会議
- 30日 九州地区主任相談支援専門員養成研修 運営
- 10月4日 鹿児島国際大学サビ管研修アドバイザー会議
- 5日 鹿児島国際大学ソーシャルワーク実習カリキュラム説明会
令和4年度 南薩障害者就労支援ネットワーク会議
令和4年度 南薩障害者就業・生活支援センター連絡調整会議
- 11日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議運営委員会
- 14日 鹿児島県相談支援従事者初任者研修（講師派遣）
- 21日 鹿児島県相談支援ネットワーク会議(KGSN) 令和4年度第1回研修委員会
- 24日 曾於市社会福祉協議会 障害施設連絡会研修会（講師派遣）
- 27日 指宿医療センター地域医療介護連携連絡会議
- 11月1日 KGSN3役会、医療的ケアアドバイザー会議
- 4日 KGSN 始良伊佐圏域研修（講師派遣）
- 10日 令和4年度相談支援従事者初任者研修（講師派遣）
- 22日 令和4年度相談支援従事者現任研修 企画運営会議
- 12月2日 鹿児島国際大学社会福祉学科 2022年度ソーシャルワーク実習事後協議会
鹿児島県障害者自立支援協議会 運営委員会
- 6日 令和4年度第3回鹿児島県特別支援学校教育研究会進路指導部会
高次脳機能障害者支援の為に情報交換会
- 14日 令和4年度相談支援従事者現任研修（講師派遣）
- 15日 鹿児島県障害者自立支援協議会
- 26日 鹿児島国際大学サビ管研修 アドバイザー会議

- 1月10日 KGSN3 役会、医療的ケアアドバイザー会議
- 17日 令和4年度相談支援従事者現任研修（講師派遣）
- 27日 南さつま市自立支援協議会研修会（講師派遣）
- 2月 3日 南九州市自立支援協議会
- 13日 令和4年度第2回 KGSN 南薩圏域研修会打ち合わせ
- 21日 令和4年度相談支援従事者現任研修（講師派遣）
- 22日 KGSN3 役会、全体研修会打合せ
- 3月1日 鹿児島国際大学サビ管研修（講師派遣）
- 3日 KGSN 運営委員会
- 6日 南薩地域連絡協議会
- 14日 令和4年度南薩地域難病対策地域協議会
県医療的ケアコーディネーター養成研修（講師派遣）

(8) その他実績等

- ア 障害支援区分認定調査（29件）
 - ・指宿市 23件
 - ・南九州市 5件
 - ・枕崎市 1件
- イ 指宿市障害者相談支援事業受託
- ウ 南九州市障害者相談支援事業受託

放課後等デイサービス カラット

1 重点項目における評価と課題

(方針1) 危機管理体制の確立・強化を図ります

安心・安全な居場所の提供に努めます

【評価】

- (1) 分遣所立ち合いの消防訓練のほか、法人内感染症対策における勉強会や外部のオンライン研修に参加し、防災・感染症への意識向上に努めた。
- (2) 市内における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、夏休み期間中9日間の営業を休止した。各事業所間で連携を図るとともに感染症対策に努め、カラット内での感染は抑えることができた。

【課題】

事業を運営する中で想定される子どもの健康状態の急変や非常災害、感染症の蔓延等、様々なリスクに対する訓練や対応マニュアルの策定、各関係機関との連携について検討していく必要がある。

(方針2) 信頼される社会福祉法人を目指します

発達段階に応じた学習・活動・遊び・楽しみを提供します

【評価】

- (1) 子どもが望む遊びや多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中でのサービス提供に努めた。
- (2) 指宿市こども部会定例会に参加し、各関係機関と情報交換を行い、共通理解を深めることができた。
- (3) 厚生労働省定めた放課後等デイサービスガイドラインの活用を徹底するとともに、利用する児童の保護者による評価を受け、改善に努めた。

【課題】

子ども一人ひとりの状況に応じた療育支援を提供していけるように環境を整える必要がある。事業者向け自己評価表及び保護者等向け評価表を職員全員で討議し、項目ごとに課題や工夫している点について保護者等との認識のずれを客観的に分析していく必要がある。

(方針3) 経営の安定化を図ります

放課後等デイサービスの質の向上、求められる施設作りを目指します

【評価】

- (1) 新型コロナウイルス感染対策を行いながら、計画どおりの活動を実施することができた。しかし、コロナ禍で感染対策に重点を置いたことで利用しづらさにつながり、利用実績が伸びなかった。
- (2) 児童発達支援管理責任者初任者研修や外部のオンライン研修等に参加し、支援の質の向上に努めた。
- (3) 令和4年4月に新規就学児童の利用は小学校支援学級の1年生1名であった。加えて10月に3名の児童が他県へ転居したため、登録者数が11名に減少した。

【課題】

年度末にカラット会議において、経営状況の説明、職員間の共有化を図った。危機感をもって経営改善に取り組んでいく必要がある。

2. 主な実績概要

(1) サービス利用状況

	定員	平日		土・祝日		合計	
		延利用	稼働率	延利用	稼働率	延利用	稼働率
令和3年度	10名	1,018名	52.5%	346名	35.7%	1,364名	46.9%
令和4年度	10名	862名	43.7%	257名	25.4%	1,119名	37.6%

(2) 事故、ヒヤリハット 0名

(3) 苦情・相談 2件

(4) ボランティア受入 2名

(5) 実習受入 なし

(6) 研修

ア 職場内研修
竹山苑に同じ

イ 職場外研修

7月27日 サービス管理責任者更新研修並びに児童発達支援管理責任者更新研修 1名

10月1日 令和4年度障害児通所支援事業所連絡会
(講話動画配信視聴) 2名

1月9日～13日 相談支援初任者研修・前期(オンデマンド講話) 1名

2月28日～3月1日 児童発達支援管理責任者初任者研修 1名

(7) 防災対策

- 5月25日 防災訓練（事故発生時対応訓練）
- 8月5日 防災訓練（昼間対応分遣所合同防災訓練）
- 10月27日 防災訓練（AED）分遣所合同心肺蘇生法講習会
- 12月23日 防災訓練カラット・竹山苑合同地震防災訓練
- 3月21日 不審者対応防災訓練

（8）設備管理

購入・工事（10万円以上）なし

名 称	数 量	金 額
デスクトップパソコン	1 台	131,560 円

（9）地域との関わり なし

特別養護老人ホーム 涼松

1 重点項目における評価と課題

(方針1) 危機管理体制の確立・強化を図ります

非常時でも安心して生活できる施設を作ります

【評価】

感染対応備蓄リストにて、必要量、備蓄量、過不足量を把握し、非常時に備えた在庫管理を年間通して実施できた。食材については毎月1回、感染症備品については随時在庫確認を行った。

非常時に職員が不足することを想定し、掃除や事務職員が厨房業務の応援に入る訓練を行ったが、他部署（介護・看護）間の訓練は実施できなかった。

非常時に備えるには平時を大事にしようと、整理整頓の習慣化に取り組んだ。12月に「各部署対抗そうじコンテスト」を実施し、優秀部署の表彰を職員会議で行った。普段から各部署内にてレイアウトの見直しや整理整頓が進むなど環境改善が図られた。

【課題】

非常時に職員が不足する事態に備えた訓練は、事業を継続するうえで今後ますます重要である。特に看護師が不足した場合、胃ろう増設者への注入業務は生命に直結する。まずは自施設の介護職員が対応できるよう研修受講の推進と技術訓練、マニュアル整備が必要である。

(方針2) 信頼される社会福祉法人を目指します

常に創意工夫を心掛け、前進する施設を作ります

【評価】

コロナ下3年目に入っても収束の兆しがみえず、利用者の行動制限が続いた。そのような中、少しでも体力を維持していくこと、普段の生活を取り戻していくことに注力した。毎日のラジオ体操やえん下体操を全体で取り組み、現在は利用者の日課となり定着している。また、コロナ下前は誕生日会を月1回実施していたが、今年度は、誕生日のその日に該当利用者思い出の歌を館内放送で流す「歌のプレゼント」を始めた。誕生者に、よりスポットが当たることで、職員が一人ひとりの利用者を敬い大切に向き合う意識の醸成につながっている。併せて、施設内に利用者世代のなじみの歌が流れることで、他の利用者に対し脳の活性化を図る「回想法」の効果も生まれている。

【課題】

お互いの業務に感謝を伝え合う「ありがとうカード」配布を実施した。年度当初は活発

に職員同士で交換が行われていたが、後半は交換の数が減少し続けている。仕事への感謝を伝える行為は「チームの輪」や「モチベーションの維持・向上」に大切な役割を担っていると思われる。改善を図りながら継続していくことが必要である。

(方針3) 経営の安定化を図ります

全職員で経営意識を共有化できる施設を作ります

【評価】

利用者の健康を維持し、入院を出来るだけ減らすことが経営の安定化につながることを職員間で共有した。入院の原因となっている疾患について調査を行い、1位肺炎、2位腎盂腎炎とわかった。1位の肺炎については、看介護全職員でオンライン研修を受講し予防対策が図られるよう努めたが、2位の腎盂腎炎の勉強会は実施できなかった。

職員の健康管理についても気を配り、職員面談を通して超過勤務になっている業務について改善できないか検討を行った。また、記録システムや職員間のコミュニケーションツールとしてのICT機器を導入し、業務の効率化を図ることができた。

【課題】

経営改善は喫緊の課題ではあるが、効率化優先で走りすぎると職員の業務過多から離職へとつながる可能性もあり、そのバランスを保つことが難しい。

2. 主な実績概要

(1) サービス利用状況

事業所名	定員	令和3年度		令和4年度	
		延利用	稼働率	延利用	稼働率
入所	50名	15,876名	87.0%	14,796名	81.1%
短期入所	10名	587名	16.1%	457名	12.5%

(2) 事故、ヒヤリハット

ア 事故 82件 (内14件 行政報告)
イ ヒヤリハット 54件

(3) 苦情・相談 1件

(4) 家族等の面会

年間回数	0	1	2~5	6~11	12以上	計
人数	24	7	20	6	4	61

(5) サークル活動 なし

(6) ボランティア受入 なし

(7) 実習受入 1件

(8) 研修

ア 職場内研修

4月 コンプライアンス研修

5月 食中毒
感染対策喚起

6月 身体拘束

7月 褥瘡

8月 医療的措置

11月 事故発生防止

12月 身体拘束

1月 認知症
事故発生防止

2月 緊急時対応

3月 権利擁護

イ 職場外研修

6月 スキルアップ研修 (オンライン) 1名

6月 社会福祉施設等新任職員研修 (オンライン) 1名

7月 人材育成研修 (オンライン) 1名

8月 認知症・精神疾患研修 (オンライン) 1名

9月 看取り研修(オンライン)2名
看取り期における多職種連携 (オンライン) 1名

10月 メンタルヘルス・高齢者虐待防止 (オンライン) 1名

11月 リスクマネジメント研修会 (オンライン) 1名

11月 口腔ケア研修 (動画視聴) 相談室、看護、介護

12月 栄養・睡眠支援と皮膚トラブルの予防研修会 (オンライン) 1名

2月 介護 BCP 作成セミナー (オンライン) 1名

(9) 防災対策

ア 防災訓練

4月 防災教育

6月 昼間火災想定避難訓練

7月 風水害対策

10月 夜間非常事態職員呼集連絡網確認訓練

- 11月 非常災害対応机上訓練
- 3月 不審者対応訓練
- 3月 夜間火災想定避難訓練

イ 消防用設備等点検

年2回実施（4月、10月）

(10) 設備管理

購入・工事（10万円以上）

名 称	数量	金 額
職員寮灯油ボイラー	1台	110,000円
自家発電機修繕	1式	621,170円
ボイラー配管修理	1式	107,855円
大浴場給湯配管工事	1式	427,000円
漏水修理	1式	124,000円
自家発電機バッテリー交換	1式	264,000円
浄化槽ポンプ交換	2台	165,000円

(11) 地域との関わり（一部再掲）

- 6月 そよ風事業打ち合わせ会
- 6月 涼松紹介動画提出⇒別府小学校
- 6月 別府小6年生からの質問⇒涼松
- 7月 別府小6年生への福祉の授業、ポスター・標語の募集（オンライン）
- 9月 ポスター・標語審査（別府小学校）
- 9月 ポスター・標語表彰（別府小学校）
- 10月 のぼり旗設置、ポスター・標語の街中掲示（～11月）

通所介護事業所 岡村さん家

1 重点項目における評価と課題

(方針1) 危機管理体制の確立・強化を図ります

安心・安全の確保に努めます

【評価】

- (1) 感染症対策のオンライン研修に参加した他、情報収集しながら職員間で話し合い、確認し合いながら感染症対策に取り組んだ。
利用者も食事や補水のあと自らマスクを着用する習慣ができた。
- (2) 送迎サービスについては、時間や準備の確認等、家族と相談しながら行い、安全運転にも心掛けて実施した。
職員体制が安定せず、また、利用者数も増えたことで、送迎の回数や時間が増え、利用者の時間延長が増えた。
- (3) 消防訓練は例年どおり実施、地震訓練では実際に利用者を車に乗せ、退避場所までの時間を計るということも行った。

【課題】

- (1) 感染症対策委員会を設け、更に他の感染症に対応できるようにする。
- (2) 安全運転に心がけ、車の破損にも注意する。
- (3) 自主訓練を増やす。

(方針2) 信頼される社会福祉法人を目指します

個々に合わせた支援を目指します

【評価】

- (1) 要支援、要介護、認知症に合わせた支援に取り組むということについては、計画的な実施はできなかった。日々の業務の中で職員間の連携を密にして対応した。
- (2) 職員の質の向上に係る外部研修については参加が少なかったが、それぞれ得意な分野を生かしながらのレクリエーションや適切な対応は実施することができた。
- (3) ケアの統一については、職員の入れ替わり等により難しいところもあったが、報・連・相を意識しながら行うことができた。

【課題】

- (1) (2) (3) 共通して職員体制が安定しない中での業務であり、十分に出来ていない部分があった。外部研修や内部研修の機会を増やし、さらなる質の向上を図る必要がある。

(方針3) 経営の安定化を図ります

稼働率の安定に努めます

【評価】

- (1) 近隣事業所等との連携や情報共有は足りない部分もあったが、他事業所からの紹介、連絡が若干増加してきた。
- (2) そよ風サロンについてはコロナの影響により再開できなかった。運営推進会議や広報誌による情報発信はできた。

【課題】

- (1) 近隣事業所とは今後も定期的に連絡を取る等、連携を図り情報を共有していくことが必要である。
- (2) 岡村さん家独自のお便り（広報誌）や家族会の実施に向けて検討していくことが必要と考えている。

2. 主な実績概要

(1) サービス利用状況

事業所名	定員	令和3年度		令和4年度	
		延利用	稼働率	延利用	稼働率
岡村さん家 通所介護	15名	3,283名	69.9%	3,127名	66.6%

(2) 事故、ヒヤリハット

- ア 事故 0件
- イ ヒヤリハット 10件

(3) 苦情・相談 0件

(4) ボランティア受入 なし

(5) 実習受入 なし

(6) 研修

ア 職場内研修

- 5月 地震訓練について
- 6月 事故防止対策について
- 7月 感染対策・ゾーニング等について
- 9月 ともいき会議・防火管理者研修報告

- 11月 コロナ対応マニュアル作成について
- 1月 虐待防止委員会設置について

イ 職場外研修

- 7月21日 令和4年度感染症対策研修会（オンライン）
- 9月7日～8日 令和4年度第1回甲種防火管理者新規講習会
- 1月23日 これからの介護現場を見据えた機能訓練への取り組みセミナー（オンライン）
- 2月8日 通所部会全体会及びセミナー（オンライン）
- 3月7日 介護事業者のための業務継続計画（BCP作成セミナー）オンライン
- 3月10日 地域ケア会議
- 3月24日 南九州市多職種連携合同研修会（オンライン）

(7) 防災対策

ア 防災訓練

- 6月22日 火災受信機通報機器、消火器取扱い説明、DVD視聴、火災想定避難訓練
- 11月14日 火災受信機通報機器、消火器取扱い説明、DVD視聴（避難訓練は分遣署職員の緊急要請出動のため中止）
- 2月24日 地震想定避難訓練（自施設のみで実施）

イ 消防用設備等点検

- 4月19日実施（松崎消防商事）

(8) 設備管理 なし

(9) 地域との関わり なし

岡村さん家居宅介護支援事業所

1 重点項目における評価と課題

(方針1) 危機管理体制の確立・強化を図ります

利用者・家族の安全や人権が守られるようにしていきます

【評価】

定期訪問時に利用者・家族へマスク着用・手洗い等の重要性の声掛けを行った。利用者・家族のコロナウイルス感染・感染疑い発生の際は利用者・家族・各サービス事業所との連絡、サービス調整等を行った。

業務継続計画は策定まで至らなかったが、作成のためにオンラインセミナー参加等情報収集を行った。

高齢者虐待防止ではデイサービス岡村さん家と共同で指針・マニュアル整備、委員会・研修会を開催し、感染症防止については指針・マニュアル整備を行い、R5年度に委員会・研修会を開催予定である。

【課題】

利用者・家族の安全確保・権利擁護のために感染防止対策の継続、委員会・研修会開催等による高齢者虐待・感染症防止に関する更なる知識の習得・再認識、業務継続計画の策定が必要である。

(方針2) 信頼される社会福祉法人を目指します

居宅介護支援事業所の信頼度が向上するようにしていきます

【評価】

南九州市・指宿市の介護保険担当部署や地域包括支援センター、医療機関、サービス事業所等と利用者支援に関する情報交換を行った。岡村集落・他地域住民からの介護保険申請・サービス利用等に関する相談には親切・丁寧・迅速を心掛けて対応し、説明・申請手続き代行等を行った。

利用者・家族へ満足度調査アンケートを令和4年10月に実施し、11月に集計結果を利用者・家族へ送付した。

【課題】

信頼度向上のために、各市関係部署や医療機関、サービス事業所との連携や地域住民へ親切・丁寧・迅速な対応に努めていくことが必要である。満足度調査アンケートも信頼度向上及び他者評価として継続していく必要がある。

(方針3) 経営の安定化を図ります

居宅介護支援事業所の経営が安定するようにしていきます

【評価】

地域包括支援センターや医療機関からの相談や依頼、当事者家族からの相談・依頼があり、新規利用者に繋がった。また、情報収集や自己研鑽の為、県介護支援専門員協議会・支部主催の研修や南九州市主催の研修・各種会議、オンラインセミナーへ参加し、情報収集に努めた。

【課題】

経営の安定化のために関係機関や利用者・家族、地域住民との良好な関係維持及び介護保険行政の動向に関する情報収集の継続、定期的な業務内容・諸経費の確認等が必要である。

2. 主な実績概要

(1) サービス利用状況

定員	令和3年度	令和4年度
	延利用	延利用
56名	468名（予防 48名）	541名（予防 33名）

(2) 苦情・相談 なし

(3) 実習受入 なし（相談支援事業所ともいき依頼の相談援助実習はデイサービス岡村さん家コロナウイルス発生の為キャンセル）

(4) 研修

ア 職場内研修

1月27日 デイサービス岡村さん家・居宅共同虐待防止委員会・研修会

イ 職場外研修

4月28日 『新年度！「介護保険」ケアマネジャー・福祉用具関連何が変わる？』セミナー（WEB）

5月11日 令和4年度地域ケア個別会議報告会（WEB）

5月13日 『ケアマネジャーとして医療と介護の連携に必要なこと』セミナー（WEB）

5月20日 『施設サービス・居宅サービスの事業継続計画をつくる・使う・開示する』セミナー（WEB）

5月28日 県介護支援専門員協議会令和4年度第1回研修会「介護支援専門員等の災害時対応事業継続計画（BCP）研修（WEB）」

6月18日 県介護支援専門員南薩支部第16回主任ケアマネスキルアップ研修会（WEB）

6月24日 『実地指導から「運営指導」に名称変更！何が変わった!?!』

セミナー (WEB)

- 7月 7日 「職員を守る！介護現場におけるハラスメント対策」セミナー (WEB)
- 7月 22日 「老年医学と認知症とフレイル、栄養支援、ケアマネジャーが抑えるべきポイント」セミナー (WEB)
- 8月 27日 令和4年度介護支援専門員協議会南薩支部第1回研修会 (WEB)
- 9月 14日 南九州市地域別個別会議 (WEB)
- 9月 16日 「おむつは自立支援の福祉用具」セミナー (WEB)
- 9月 30日 適正服薬支援に関する三師会合同研修 (WEB)
- 10月 7日・8日 快護フェス講演会・セミナー (かごしま県民交流センター)
- 10月 25日 セミナー「居宅介護支援事業所のためのBCP作成セミナー」(WEB)
- 10月 29日 介護支援専門員協議会南薩支部第17回主任ケアマネスキルアップ研修会 (WEB)
- 11月 2日・20日 虐待防止研修(権利擁護・虐待防止シリーズ WEB 動画視聴)
- 11月 3日・20日 ハラスメント研修 (介護現場におけるハラスメント対策シリーズ WEB 動画視聴)
- 11月 14日 南九州市居宅介護支援専門部会・研修会 (WEB)
- 11月 19日 県介護支援専門員協議会第2回研修会 (WEB)
- 12月 1日 ケアプランデータ連携システムに関するセミナー (WEB)
- 12月 2日 保険外サービス導入・活用事例紹介に関するセミナー (WEB)
- 1月 19日 地域別個別会議助言者向け研修会 (WEB)
- 1月 28日 介護支援専門員協議会南薩支部第3回定例研修会 (WEB)
- 2月 7日 国民健康保険中央会ケアプランデータ連携システム説明会 (WEB)
- 2月 17日 南九州市颯娃地区介護支援専門員意見交換会 (颯娃文化会館)
- 2月 20日 南九州市居宅介護支援専門部会研修会 (WEB)
- 3月 3日 鹿児島県介護支援専門員協議会第3回研修会 (WEB)
- 3月 9日 中産連介護事業所のための業務継続計画 (BCP) セミナー (WEB)
- 3月 10日 R4年度南九州地域別個別会議 (川辺ひまわり館、事例提供)
- 3月 24日 南九州市多職種連携合同研修会 (WEB)

(5) 地域との関わり そよかぜ事業ポスター掲示協力